



2014～2015

津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



例会日/毎火曜日
例会場/津都ホテル 津市大門7-15
事務所/津市大門10-7 ビッচারズビル2階
TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/長谷川 顕一
幹事/山口 満也
E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp
ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

第2354回例会 2014年8月26日(火) 天候 曇り時々晴

—— 9月は新世代のための月間 ——



例会予定

- 9月2日(火) 月間関連卓話
地区青少年奉仕部門カウンセラー 竹腰 兼壽様
インターアクト小委員会委員長 伊藤 靖則様
ローターアクト小委員会委員長 大谷 浄治様
青少年交換小委員会委員長 向井 龍三様
- 9月10日(水) 石垣智康ガバナー公式訪問
津・四クラブ合同例会
- 9月16日(火) 観月夜間例会 於: レストランあさくま
9月23日(火) 法定休日

進行担当

[橋本副SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング それでこそロータリー

来訪者

[長谷川会長]

ゲストスピーカー 岸田 早苗様
(三重県総合博物館 展示・資料情報課課長)
津 RC 二見 浩之君
津北 RC 楠井 嘉行君 山田 瞳君

出席報告

[中山委員長]

8月26日 出席率 48名中 42名 87.50%
8月5日 修正出席率 48名中 44名 91.67%

幹事報告

[山口幹事]

- ★ 9月ロータリーレート 1 \$102円
- ★ 9月27日(土) IM開催登録の件
- ★ 10月18日(土)・19日(日) 地区大会登録の件
- ★ 本日例会終了後、臨時総会開催の件
- ★ 例会変更はありません。

臨時総会報告

- 2013～2014年度決算の件; 承認
- 津南RC定款・細則・内規の件; 承認

会長報告

[長谷川会長]

◆ 本日は、心理学者の内藤誼人様の「人間関係を円満にする三つの工夫」のお話から抜粋し紹介します。

①自分から挨拶を心がける

「向こうから挨拶してくれれば、こちらだって挨拶するのやぶさかではない」などと考えていないだろうか。その意識がダメである。挨拶は、必ず自分からするのだ。この「ひと手間」が重要である。皆さんだって、むこうから挨拶してもらえば嬉しいであろう。相手だって同じなのである。挨拶は人間関係の基本中の基本。ぜひ自分から挨拶を心掛けてほしい。その効果は測り知れないほど大きいはずだ。なぜなら、誰だって挨拶してもらえば嬉しいのだから。挨拶ひとつをすることで皆さんの評価はずいぶん違ってくると思う。

②とにかく「ホメ言葉」を連発する。

人間関係を円満にする二つ目の「ひと手間」は、ずばり、ホメ言葉である。人と話すときには、必ず一回はホメ言葉を言う、という習慣を身につけることができれば、すべての人が皆さんのファンになってくれる。「お世辞や社交辞令だと思われませんか?」と思うかもしれないが、そういうつまらない意識があると、人をホメることが出来ない。

③笑顔で、愛想を振りまく

頬の筋肉がひきつるくらいに、愛想を振りまくことができれば、たいしたものである。いつでも笑顔を作るクセをつけておけば、そのうち無意識のうちに、自動的に、人に会うたびに笑顔を見せられるようになる。なぜ、笑顔が人間関係で重要なのか。その理由は「こちらが笑顔を見せれば、相手からも笑顔が返ってくる」からである。これを心理学では“笑顔の返報性ルール”と呼んでいる。こちらがニコニコしていれば、相手もつられてニコニコ返してくれるのである。だから人間関係が円満になるのだ。

以上、三つの「ひと手間」を実践するだけで人間関係は確実に円満になるはずだ。と話されています。皆様もぜひお試しください。

MieMuの紹介と私の仕事



三重県総合博物館 展示・資料情報課
課長 岸田 早苗 様

MieMu三重県総合博物館は、4月19日に県総合文化センター隣に開館し、おかげさまで、8月中旬には来館者が22万人とたくさんの方々にご来場いただいております。

愛称のMieMu (みえむ) は、「三重」の「ミュージアム」を表現していると共に、“みえむ”という音は“三重への夢”に通じ、三重への愛着や誇りを持ち、未来への夢を持てるような博物館になりたいという思いを表現したものです。

館の使命は、①三重の自然と歴史・文化に関する資産を保全・継承し、次代に生かす ②学びと交流を通じて人づくりに貢献する ③地域への愛着と誇りを育み、地域づくりに貢献する、です。みなさんの「役にたつ博物館」になりたいということで使命として掲げた点が一つの特徴となっています。

館のテーマは、「三重が持つ『多様性の力』」です。三重県は南北に長い地形のため多様な気候に恵まれていることから、生物相が豊かです。文化的には、東西の文化が交わり、多様な文化が育まれています。このような多様性の高さは、三重県の大きな特徴であることからテーマを設定しました。

活動理念は「ともに考え、活動し、成長する博物館」。県民や利用者のみなさんといろいろ意見交換をしながら、一緒に活動し、博物館をつくっています。

建築設計では、①県総合文化センターや美術館と一体となった「文化ゾーン」②県立博物館にふさわしい「外観デザイン」③緑の環境を活かす「ミュージアムフィールド」という点を、展示設計では、①三重の自然と歴史・文化のことがわかる展示 ②みんなできいっしょに作っていく展示 ③子どもたちを育む展示を大事にしました。また、博物館全体の活動や空間で展示を展開し、身近に三重の自然や歴史・文

化に接してもらえる施設として計画しました。

収蔵資料は、自然関係資料（地学、動物、植物、理工資料等）が約37万点、人文関係資料（考古、美術工芸、歴史、民俗、歴史的公文書等）が約13万点で計約50万点あります。

スタッフは、館長以下35名で、うち17名が学芸員です。担当分野は、博物館学、保存科学、アーカイブス学、資料情報学などの総合分野、自然分野には動物学、植物学、地学、人文分野には歴史学、美術工芸史学、民俗学です。

博物館での私の仕事

博物館での私の仕事は、美術工芸史学担当であることから、絵画・墨跡、浮世絵、陶磁器などの博物館資料や、三重に関する様々な美術工芸品や文化財についての調査研究を行っています。特に興味がある事は、物語絵・やまと絵・有識故実画などの作品の由来などを調べることです。描かれた絵画から、さまざまな三重の歴史や文化の特色を抽出する作業を行っています。他には、こども体験展示室や、“三重の魅力と博物館の楽しさを伝える”「空間演出」などについて担当しました。

絵を「読み解く」ということについて、基本展示室「三重をめぐるモノの交流」で展示している「東都大伝馬街繁栄之図」を例にご紹介します。東都大伝馬街繁栄之図は、歌川広重が大伝馬町の伊勢商人たちから発注を受けて製作した浮世絵です。そこには、伊勢商人たちが扱った太物（木綿）製品を着た女性、伊勢の木綿を運び入れるお店の人、お使い帰りの丁稚などが描かれています。大伝馬町は、幕府から特別な町並みを許可されており、その内容も盛り込んで描かれていることなどがわかります。

今後の予定として、MieMuでは、開館記念企画第4弾「祈りと癒しの地 熊野」を、10月11日（土）～11月24日（月●）、開館記念企画第5弾「ふたりのウェディング事情」を1月10日（土）～3月8日（日）に開催いたします。

ぜひ、MieMuへお越しください。お待ち申し上げます。

ニコBOX

〔樋口委員長〕

- 二見 浩之君 (津RC) メークアップでお世話になります。所用の為中座をお許し下さい。
- 楠井 嘉行君 (津北RC) メークアップお世話になります。所用のため中座します。申し訳ありません。
- 山田 瞳君 (津北RC) メークアップでお世話になります。所用の為早退させて頂きます。
- 長谷川 顕一君 三重県総合博物館展示・資料情報課課長 岸田早苗様、お忙しい中、卓話にお越し頂き有難うございます。
- 山口 満也君 岸田早苗様、本日は宜しく御願い申し上げます。
- 小川 恭平君 ・三重高校よく頑張った。しかしもう少しでした。残念！
・県立博物館 岸田様のお話楽しみにしています。
- 小泉 智英君 少々忙しい時期をすごしました。
- 大川 吉崇君 私が4年間勤務しておりました三重高校の準優勝を祝しまして。

- 村木 正二君 ・岸田早苗様、本日卓話ありがとうございます。ご返事。
・先日家内の誕生日ありがとうございました。
 - 薄井 美弥君 三重高校、元気をもらいました。川本様お疲れ様でした。
 - 川本 豊君 この夏、三重高校と共に6回甲子園に行くことができました。貴重な経験をさせて頂いた三重高野球部に感謝の気持ちを込めて、ニコ致します。祝・準優勝 三重高校
 - カトウサトシ君 (OB) 皆様ごきげんよう。三重高校あれよあれよの準優勝!! おめでとうございました。(郷土愛)
- 三重県総合博物館展示資料情報課課長 岸田早苗様をお迎えして、
日比隆幸君、佐々木喬君、岡部宏司君、竹内敏明君、境 徹君、橋本 學君、福島勝也君、伊藤孝行君、大川吉崇君、今野信太郎君